



パワハラをなくす教科書

「健康経営」実現の一環

パワハラは指導監督・業務命令との線引きが難しいケースが多いが、指揮命令系統がある以上どんな職場でも生じ得る。労働相談件数でも最多となっており、企業等へのカウンセリングを行っている著者は、パワハラはセクハラ以上にリスクが大きく、「働き方改革」によって新たなハラスメント行為を生み出す可能性もあると警鐘を鳴らす。

本書ではパワハラを個々の言動の是非に問うのではなく、労働環境や企業風土の問題として捉え、「健康経営」実現のためのパワハラ撲滅をめざすことを重視している。

「言ってはいけないこと」を覚えるマニュアルではなく、問題を本質から理解し、職場環境改善につなげるための教材として活用するのに有益な一冊といえる。

(和田隆著、方丈社刊、☎03-3518-2272、1,500円+税)

デジタルまゆ知識💡 スケジュール管理はデジタル派、それともアナログ派？

「一年の計は元旦にあり」といいますが、皆さんはいつもどのようにスケジュール管理をしていますか？最近ではアプリを活用している方も増えてきたのではないのでしょうか。「いやいや、やっぱり昔ながらの手帳やカレンダーに書き込まないと！」という方もまだまだ多いことでしょう。

デジタルネイティブではない世代は、手帳を持ち歩いたりカレンダーに書き込んだりするのがスケジュール管理の定番でした。また、家族みんなが見やすい場所に壁掛けカレンダーをかけ、そこにおのおのの予定を書いて共有しているご家庭もありますよね。

スケジュールアプリを入れることで、手帳やカレンダーを持ち歩く必要がなくなる場合もあります。リマインド機能を使えば、指定した日時に音や文字で通知してくれます。

生活スタイルや自分の性格に合わせ、それぞれのメリットを使い分ける「二刀流」もおススメです。アプリをまだ試していない方は、新年をきっかけにトライしてみるのはいかがでしょうか。

編集後記

約3週間にわたって開催されたパリオリンピックも8月11日で閉会しました。

日本はレスリング、フェンシング、体操、スケートボードなどで大活躍しました。

お家芸の柔道は期待されたほどの活躍はできませんでしたが、まずは世界を席卷したこともある日本水泳は見る影もありませんでした。今後の奮起を期待したいと思います。

獲得した金メダルは20個で、米国、中国に次いで3位でしたが、メダル総数では豪州、英国、フランスに及ばず6位でした。

メダルランキングを見ていてつくづく感じたのは、やはりメダル総数はほぼ国力に比例しているという事です。人口、経済力、科学技術力など国の総合力がメダル獲得を支えていることは間違いないようです。

今大会には、ロシアがウクライナ戦争により参加していませんでした。次のロサンゼルスオリンピックまでには各地の戦争が終結し、平和の内により多くの国のアスリートが鍛えた技を競い合ってほしいと思いました。

(専務理事 鈴木 寿信)